

⑤0チャイルドラインうさぎのみみ

困りごとや喜び、誰かと話したい気持ちに寄り添う子ども専用電話「チャイルドライン」。18歳までの子どもたちが安心して相談できるように、秘密は守る▽どんなことも一緒に考える▽名前は言わなくてもいい▽切りたいときには電話を切ってもいい―という四つの約束で寄り添っている。子どもから日々寄せられる相談の中でも特に、体の発達やジェンダー、人間関係などが多く「自分だけがおかしいのではないか」という不安から身近な人にも相談できないことがうかが



子どもの気持ちに耳傾ける

「子どもたちの居場所となりたい」と話す
楠本さん



中。詳細はQRコードから。加者を募集中。

える。それでも「誰かに聞いても自身で決める機会を大切にほしい」という声が、にじつと、安心して話せる電話の他、オンラインチャットや気持ちを投稿するサイトで話を傾ける。「つぶやく」機能に多く寄せられる。受け手は、アドの悩みや話を聞く受け手バイスの押しつけや否定は育成にも取り組んでいせず「どう感じたか」「どう。携帯電話やスマートフォンなどの子どもに気持ちは焦点を当て一緒に無料にかけられる。フリーダイヤル0120(99)7777。鳥取県内のチャイルドラインうさぎのみみは、「ウインツ」の長い耳のように子どもたちの声をよく聴こう」をモットーに2002年から活動を開始した。代表の楠本さん(67)は「子ども(7月26日午後2時)の参加者を募集中。詳細はQRコードから」。